

三菱UFJニコス、自動販売機へのタッチ決済導入を加速 アイティアアクセスの自販機専用端末約13万台に順次搭載！

～少額決済分野における快適・安全・安心なカード利用を促進、12月5日から順次～

三菱UFJニコスはこの度、自動販売機（以下、自販機）組み込み型の決済端末を開発・提供するアイティアアクセス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：高橋尚、以下、アイティアアクセス）と提携し、同社の決済端末（VMPU-01L-E）にタッチ決済（非接触ICによるクレジットカード決済※）を導入し、12月5日より順次取り扱いを開始します。 ※Visa/Mastercard®/JCB/American Express®のタッチ決済（コンタクトレス決済）

今回、タッチ決済が可能となるのは、アイティアアクセス提供の決済端末を搭載した全国約13万台（2024年9月末時点）の自販機。同自販機では既に電子マネー決済やQRコード決済は利用可能となっており、アイティアアクセスは今般、利用者の一層の利便性向上を目的に、クレジットカードによるタッチ決済機能の追加を決め、当社が導入するものです。本サービスにより、自販機の新端末（VMPU-01L-E）に非接触対応のクレジットカードをかざすだけで決済が完了。会員のサインや暗証番号の入力も不要で手軽に商品の購入が可能となります。なお、既に決済端末が取り付けられている自販機については新端末（VMPU-01L-E）の導入（入替）を順次進めていくものです。



[本件の特長]

SimplePaymentをコンセプトに掲げる三菱UFJ銀行提供の決済ネットワークサービス「SP-NET（エスピーネット）」を活用。これにより当社は、かねて課題の飲料自販機など少額かつ多量なカード決済処理にかかるコストを従来に比べ圧縮しつつ、快適・安全・安心なカード決済を実現。

- ① 自販機に搭載のアイティアアクセスの決済端末はクラウド型であり、SP-NETに直接に接続することで、情報処理センター等を介することなく当社に決済情報を連携可能。
- ② 一括払いに限定しており情報処理プロセスを簡素化、シンプルかつ低コストの処理を実現。
- ③ 決済情報はすべてSP-NET経由で処理され、カード情報が自販機やアイティアアクセスの決済端末（クラウドサーバー）を経由することなく決済を完了。（カード情報の非保持化）

当社は今後、アイティアアクセスとの連携を強化し、自販機でのカード決済サービスを一層推し進めたいと考えています。なお、タッチ決済対応の同社端末を搭載した自販機の取り扱い台数（新規導入含む）は来年度以降、年間約2万台を目指しています。

<参考資料>

■ アイティアアクセスについて

[企業概要]

社名: アイティアアクセス株式会社

本社: 神奈川県横浜市港北区新横浜 3 丁目 17 番地 6 号

設立年月日: 2000 年 4 月

事業内容:

- ・ソフトウェアシステムの開発・運営、およびクラウド型決済サービスの開発・販売。
- ・「IT で世界を楽しくする会社」をビジョンに、非対面クラウド決済の可能性にいち早く目をつけ、端末ハードウェアからサーバーソフトウェアまですべて自社開発したことで、統合化された利便性の高いサービスを提供

[決済端末イメージ]



\ 簡単取り付け /



コンパクトになったことで、取り付けが難しかった駐車場、物販自販機、無人精算機にも取り付け可能となりました。特殊な金具も不要のため、設置も簡単です。